

資料編

- I スポーツに関する市民アンケート調査
- II スポーツ関係団体等との懇談会
- III 一関市のスポーツを考えるワークショップ
- IV 一関市スポーツ推進審議会条例
- V 一関市スポーツ推進審議会委員名簿
- VI 計画策定の経過
- VII スポーツ施設一覧
- VIII SDGsにおける17のゴール

I スポーツに関する市民アンケート調査

1. 調査の目的

次期「一関市スポーツ推進計画」の策定にあたり、市民のスポーツやレクリエーション活動の現状・課題を把握する。

2. 調査内容

- (1) 調査対象 令和2年6月30日現在、一関市に居住する満18歳以上80歳以下の男女 1,000人
- (2) 抽出方法 住民基本台帳からの無作為抽出
- (3) 調査方法 郵送による調査票の配布及び回収
- (4) 調査期間 令和2年8月11日（火）～8月31日（月）

3. 回収結果

回収数 372人（回収率37.2%）

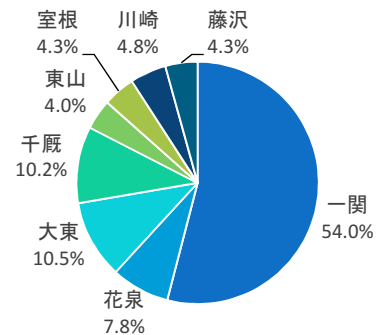
4. 集計について

- (1) 回答割合は、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。
また、複数回答の設問では、回答割合の合計が100%を超える場合がある。
- (2) 各設問の選択肢において、無回答も選択肢の1つとし、無回答も含めて割合を集計した。

【はじめに】

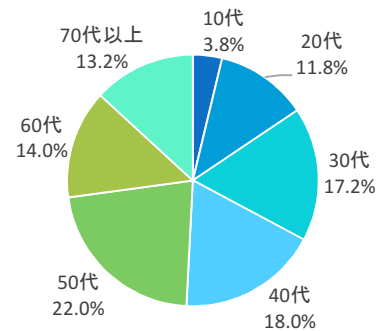
Q1 あなたのお住まいの地域をお答えください（1つ選択）

選択肢	回答数	割合
一関	201	54.0%
花泉	29	7.8%
大東	39	10.5%
千厩	38	10.2%
東山	15	4.0%
室根	16	4.3%
川崎	18	4.8%
藤沢	16	4.3%
有効回答数	372	



Q2 あなたの年代をお答えください（1つ選択）

選択肢	回答数	割合
10代	14	3.8%
20代	44	11.8%
30代	64	17.2%
40代	67	18.0%
50代	82	22.0%
60代	52	14.0%
70代以上	49	13.2%
有効回答数	372	



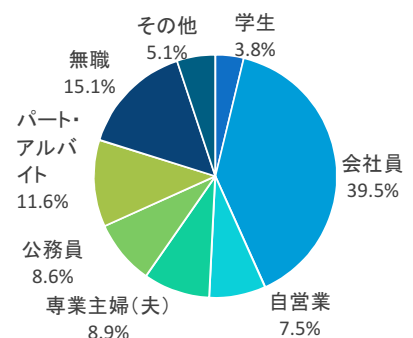
Q3 あなたの性別をお答えください（1つ選択）

選択肢	回答数	割合
男	172	46.2%
女	197	53.0%
回答しない	3	0.8%
有効回答数	372	



Q4 あなたの職業をお答えください（1つ選択）

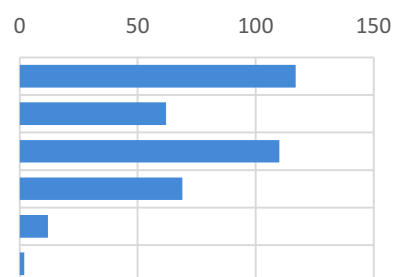
選択肢	回答数	割合
学生	14	3.8%
会社員	147	39.5%
自営業	28	7.5%
専業主婦（夫）	33	8.9%
公務員	32	8.6%
パート・アルバイト	43	11.6%
無職	56	15.1%
その他	19	5.1%
有効回答数	372	



【スポーツ活動について】

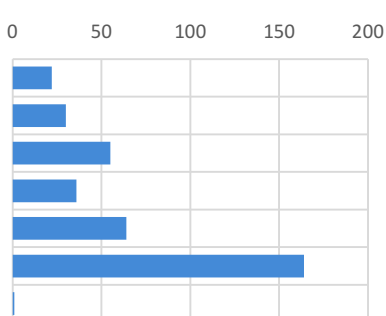
Q 5 あなたは、スポーツをすることが好きですか (1つ選択)

選択肢	回答数	割合
1. 好き	117	31.5%
2. どちらかと言えば好き	62	16.7%
3. 普通	110	29.6%
4. あまり好きではない	69	18.5%
5. 嫌い	12	3.2%
無回答	2	0.5%
有効回答数		372



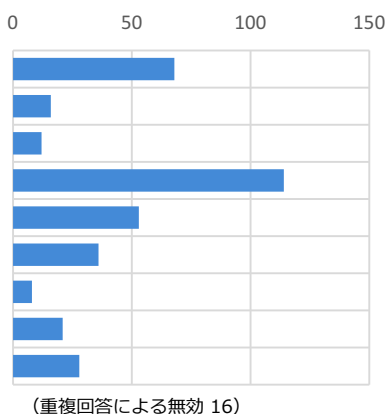
Q 6 あなたは、スポーツをどの程度行っていますか (1つ選択)

選択肢	回答数	割合
1. 毎日	22	5.9%
2. 週に3日以上	30	8.1%
3. 週に1~2日程度	55	14.8%
4. 月に1~3日程度	36	9.7%
5. 年に数回程度	64	17.2%
6. ほとんど行っていない	164	44.1%
無回答	1	0.3%
有効回答数		372



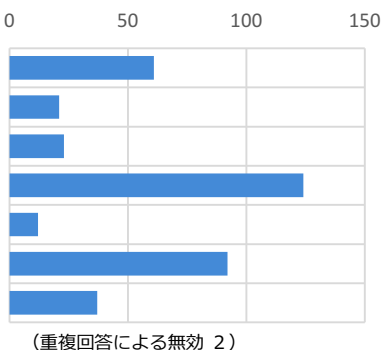
Q 7 あなたがスポーツを行う理由は何ですか (1つ選択)

選択肢	回答数	割合
1. 楽しいから・好きだから	68	19.1%
2. スポーツを通じた交流	16	4.5%
3. 友人等のつきあい	12	3.4%
4. 健康・体力の維持	114	32.0%
5. ストレス解消・気分転換	53	14.9%
6. 地域や職場の付き合い	36	10.1%
7. 試合・競技大会などの参加	8	2.2%
8. その他	21	5.9%
無回答	28	7.9%
有効回答数		356



Q 8 あなたは、スポーツを主にどこで行っていますか (1つ選択)

選択肢	回答数	割合
1. 市の公共スポーツ施設	61	16.5%
2. 市内の民間有料施設	21	5.7%
3. 学校体育施設	23	6.2%
4. 身近な公園や広場等	124	33.5%
5. 市外のスポーツ施設	12	3.2%
6. その他	92	24.9%
無回答	37	10.0%
有効回答数		370



Q9 <Q6で、「① 毎日」「② 週に3日以上」「③ 週に1～2日程度」と答えた方への設問>

あなたが主に行っているスポーツは何ですか（1つ選択）

選択肢	回答数	割合	0	10	20	30	40	50	
1. 競技スポーツ	22	21.8%							
2. ニュースポーツ	5	5.0%							
3. 軽体操（ラジオ体操など）	6	5.9%							
4. ヨガ、エアロビクス、アクアエクササイズなど	6	5.9%							
5. ジョギングやランニング	8	7.9%							
6. 散歩やウォーキング、徒歩での通勤・通学・買い物	39	38.6%							
7. 器具や機器を利用したトレーニング	6	5.9%							
8. その他	7	6.9%							
無回答	2	2.0%							
有効回答数		101	(重複回答による無効 6)						

Q10 <Q6で、「④ 月に1～3日程度」「⑤ 年に数回程度」「⑥ ほとんど行っていない」と答えた方への設問>

あなたがあまりスポーツをしていない理由は何ですか（複数回答可）

選択肢	回答数	割合	0	50	100	150
1. スポーツが嫌い、苦手	32	12.1%				
2. 仕事や家事、育児などで時間がない	117	44.3%				
3. 一緒に行く仲間がいない	24	9.1%				
4. 年齢や体力に応じた指導を受ける機会がない	19	7.2%				
5. サークルやクラブ活動などの情報がない	16	6.1%				
6. 適度なスポーツができる場所や施設が身近にない	29	11.0%				
7. お金がかかる	20	7.6%				
8. 自分の生活時間と施設や教室の利用時間が合わない	43	16.3%				
9. 機会がない	50	18.9%				
10. 特に理由はない	35	13.3%				
11. 身体的な理由で運動を行えない	20	7.6%				
12. その他	10	3.8%				
無回答	26	9.8%				
有効回答数		264				

Q11 <Q6で、「④ 月に1～3日程度」「⑤ 年に数回程度」「⑥ ほとんど行っていない」と答えた方への設問>

あなたが、条件が整えばやってみたいと思うスポーツは何ですか（複数回答可）

選択肢	回答数	割合	0	20	40	60	80	100	
1. 競技スポーツ	60	22.7%							
2. ニュースポーツ	28	10.6%							
3. 軽体操（ラジオ体操など）	28	10.6%							
4. ヨガ、エアロビクス、アクアエクササイズなど	75	28.4%							
5. ジョギングやランニング	32	12.1%							
6. 散歩やウォーキング	77	29.2%							
7. その他	17	6.4%							
8. 特になし	40	15.2%							
無回答	14	5.3%							
有効回答数		264							

【市の事業について】

Q12 あなたは、市の委託事業などで一関市体育協会が実施しているスポーツ教室やスポーツ大会等（※）に参加したことがありますか（1つ選択）

（※ ヨガやエアロビクスなどの生涯スポーツ教室や、ソフトバレーボールやマラソンなどの市民スポーツ大会等）

選択肢	回答数	割合	0	50	100	150	200
1. よく参加する	10	2.7%					
2. 何回か参加したことがある	72	19.4%					
3. 実施していることは知っているが参加したことはない	177	47.6%					
4. 実施していることを知らない	103	27.7%					
無回答	10	2.7%					
有効回答数		372					

Q13 <Q12で、「① よく参加する」または「② 何回か参加したことがある」と答えた方への設問>

あなたは、その事業を何で知りましたか（複数回答可）

選択肢	回答数	割合	0	20	40	60
1. 市の広報・ホームページ	20	24.4%				
2. 一関市体育協会のホームページ	11	13.4%				
3. 新聞・ラジオ等	5	6.1%				
4. チラシ	6	7.3%				
5. 知人・友人等から	49	59.8%				
6. その他	3	3.7%				
無回答	5	6.1%				
有効回答数		82				

Q14 <Q12で、「① よく参加する」または「② 何回か参加したことがある」と答えた方への設問>

あなたが参加した事業は何ですか（複数回答可）

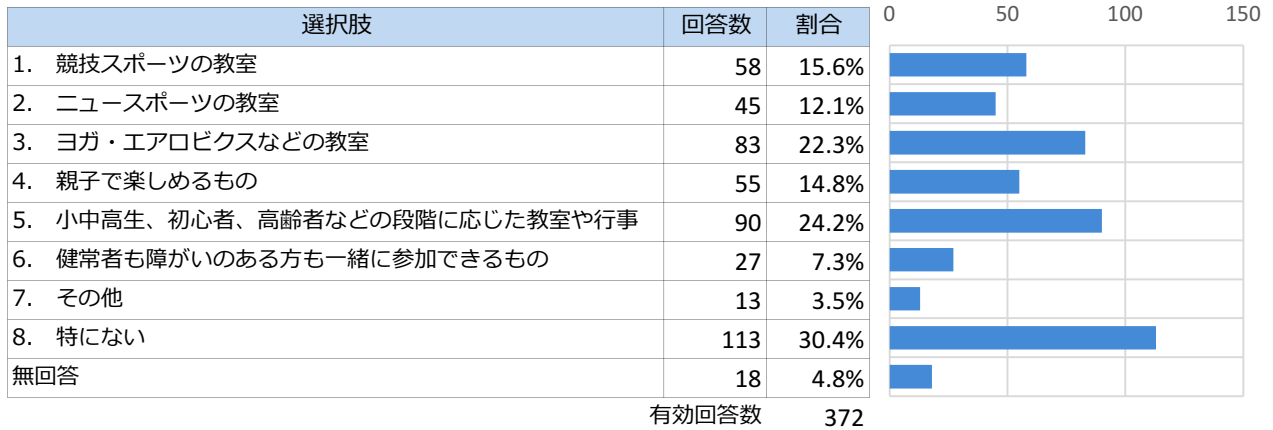
選択肢	回答数	割合	0	10	20	30	40
1. ヨガ教室	12	14.6%					
2. ピラティス教室	0	0.0%					
3. エアロビクス教室	9	11.0%					
4. アクアウオーキング教室	2	2.4%					
5. スポーツウエルネス吹矢教室	5	6.1%					
6. 初心者のための登山教室	3	3.7%					
7. マラソン大会・駅伝大会	5	6.1%					
8. 市民体育大会・体育祭	37	45.1%					
9. ソフトバレーボール大会	24	29.3%					
10. その他	17	20.7%					
無回答	1	1.2%					
有効回答数		82					

Q15 <Q12で、「③ 実施していることは知っているが参加したことはない」と答えた方への設問>

あなたが参加しない理由は何ですか（1つ選択）

選択肢	回答数	割合	0	20	40	60	80
1. 都合が合わない	61	35.7%					
2. 一緒に参加する仲間がいない	20	11.7%					
3. 気が引ける・恥ずかしい	15	8.8%					
4. 参加したい内容のものが無い	17	9.9%					
5. 興味がない	40	23.4%					
6. その他	14	8.2%					
無回答	4	2.3%					
合計	171	100.0%					
有効回答数		171	(重複回答による無効 6)				

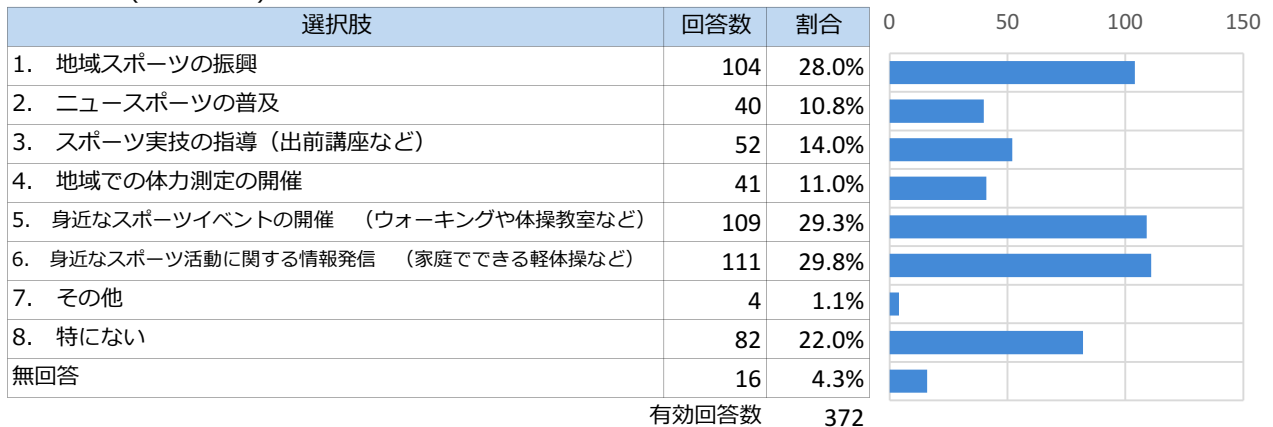
Q16 あなたが参加してみたい、あるいは今後実施してほしいスポーツ教室等がありますか（複数回答可）



Q17 あなたは、市内各地域で行われるPTAや民区のレクリエーション活動で、市のスポーツ推進委員がニュースポーツなどの実技指導を行う派遣事業があることを知っていますか（1つ選択）



Q18 あなたは、市のスポーツ推進のため市内各地域で活動しているスポーツ推進委員（55名）に、どのような役割を期待しますか（複数回答可）



【スポーツ施設について】

Q19 あなたが主に利用する市のスポーツ施設はどこですか（複数回答可）



Q20 あなたは、市のスポーツ施設についてどのようにお考えですか（1つ選択）

選択肢	回答数	割合
1. 施設は十分に備わっており、満足している	21	5.6%
2. 施設は比較的備わっており、おおむね満足している	118	31.7%
3. 十分な施設が備わっておらず、満足していない	51	13.7%
4. よくわからない	171	46.0%
無回答	11	3.0%
有効回答数		372

Q21 <Q20で、「③十分な施設が備わっておらず、満足していない」と答えた方への設問>

市のスポーツ施設としてもっと充実してほしい施設は何ですか（自由記載）

◇ 屋内プール

- ・ 仕事の合間など、いろいろな時間で利用したい。
- ・ 年齢とともに無理な運動はできないため、高齢になっても続けられる水中ウォーキングなどを行いたい。
- ・ 混雑していると足腰の弱い高齢者は利用できないので、時間帯により年齢制限を設けてほしい。
- ・ 今ある地域以外にもプールを整備してほしい。

◇ トレーニング施設

- ・ 設備や器具が整った大型トレーニング施設がほしい。
- ・ トレーニング室があるのに利用できない体育館があるので、改善してほしい。
- ・ 施設の数が少ないので気軽に行けない。
- ・ 初めての時は特に、器具の使い方を指導してくれる人がいてほしい。
- ・ 育児のため遠くのトレーニング室まで行けないので、遅い時間帯まで利用できる施設が近くにあるといい。
- ・ 健康管理機器を設置して、インストラクターを常駐させてほしい。

◇ 体育館

- ・ もっと気軽に利用したい。
- ・ 体育館が無料で利用できるといい。
- ・ 子どもと自由に利用したい。
- ・ 古い体育館を建て替えてほしい。
- ・ トランポリンを設置して指導してほしい。
- ・ 清潔感がほしい。
- ・ スポーツ大会を開催するような体育館には冷暖房を完備して欲しい。駐車場も大きくしてほしい。
- ・ バウンドテニスがしたい（東口体育館など）。

◇ その他

- ・ トレーニング室やプールなどを備えている複合のスポーツ施設がほしい。
- ・ スケートボードやインラインスケート、BMXができる常設パークがほしい。
- ・ 自転車が自由に走れるサイクリングコースがあるといい。
- ・ 収容人数が多い野球場がほしい。
- ・ 近くに2面くらいの屋根つきのゲートボールコートがほしい。
- ・ 体育館以外の施設があまりない。運動できる施設が少ない。
- ・ ウォーキングコースやランニングコースが整った公園や広場があるといい。
- ・ 家族単位で何でもできるスポーツ公園があるといい。
- ・ 屋外施設が管理棟から死角になっており、日中でも不安な時がある。安心して使えるようにしてほしい。
- ・ スタジオをつくって、夕方や土日など参加しやすい時間帯でエアロビクス教室を開催してほしい。

Q22 あなたは、一関市公共施設予約システムを利用し、パソコンやスマートフォンなどから市のスポーツ施設の空き状況の確認や利用予約をしたことがありますか（1つ選択）

選択肢	回答数	割合
1. したことがある	27	7.3%
2. できることは知っているがやったことはない	92	24.7%
3. できることを知らなかった	238	64.0%
無回答	15	4.0%
有効回答数		372

【スポーツ施策について】

Q23 あなたが地域のスポーツ活動に期待する効果は何ですか（複数回答可）

選択肢	回答数	割合
1. 地域コミュニティの活性化	123	33.1%
2. 地域経済の活性化	39	10.5%
3. 高齢者の生きがいづくり	100	26.9%
4. 世代間交流の促進	69	18.5%
5. 青少年の健全育成	52	14.0%
6. 健康づくりの推進	202	54.3%
7. スポーツ施設の有効活用	87	23.4%
8. 余暇時間の有効活用	105	28.2%
9. その他	3	0.8%
10. わからない	44	11.8%
無回答	8	2.2%
有効回答数		372

Q24 あなたは、今後一関市のスポーツを推進するために何が重要だと思いますか（複数回答可）

選択肢	回答数	割合
1. 市民が気軽に参加できるスポーツ教室やスポーツイベントの開催	177	47.6%
2. 子ども、社会人、高齢者など、各世代に合ったスポーツ活動の推進	142	38.2%
3. 誰もが気軽に実践できるニユースポーツの普及推進	83	22.3%
4. スポーツ団体や地域でのスポーツ活動への支援	61	16.4%
5. スポーツ大会誘致による交流拡大や競技スポーツの推進	44	11.8%
6. トップアスリートとの交流や実技指導を受ける機会	76	20.4%
7. スポーツ指導者や審判員の育成	31	8.3%
8. 公共スポーツ施設の整備・充実	88	23.7%
9. プロスポーツや国際大会の観戦など「みるスポーツ」機会の創出	82	22.0%
10. 健常者と障がい者が一緒に行うスポーツ活動の推進	28	7.5%
11. スポーツ活動に関する情報提供の充実	55	14.8%
12. ボランティアによるスポーツの指導やスポーツイベントの運営協力の推進	28	7.5%
13. 総合型地域スポーツクラブの推進	21	5.6%
14. その他	6	1.6%
15. わからない	42	11.3%
無回答	3	0.8%
有効回答数		372

Q25 あなたは、今後一関市のスポーツを推進するために何が必要だと思いますか（自由記載）

1. スポーツ行政について

20代	<ul style="list-style-type: none"> 市の広報誌などにスポーツに関する情報を増やして、高齢者などにもわかりやすく、また、気軽にイベントや大会の申込ができるようにする。 新聞やラジオ、市の広報等をあまり活用しない若い世代向けに、コンビニや駅など若者が多く利用する施設等を活用して周知を図るなど、まずは活動を知ってもらうことに力を入れる。 レクリエーションスポーツと競技スポーツを分けて考える必要があると思う。
30代	<ul style="list-style-type: none"> どのような活動をしているのかよくわからない。 ラジオ番組などで周知を図りながら、もっと積極的な活動や施設の提供をする。
40代	<ul style="list-style-type: none"> インターネットを利用した施設予約は便利なので、これからもインターネットの活用を期待している。 スポーツをすることは大切であると感じているが、学校の部活動時間の制限に関連して、スポ少活動や父母会練習等におけるスポーツ施設の利用制限などをしっかり考えてほしい。 公共施設予約システムは、団体に所属する人数に比例してシステムを利用できる人が多くなる。公平性を保つため、団体ごとにシステムが利用できる人数を制限するのが良い。 地域の有望な選手への支援は非常に良いことだと思う。選手育成に対する支援を充実してほしい。
50代	<ul style="list-style-type: none"> 閉校した学校の体育館の再利用を進めると、身近な運動施設になるのではないかな。 プロのプレーヤーを間近で見ることは子ども達への良い刺激になる。各競技でプロ選手等による指導会をたくさん増やし、長く競技を楽しむためのいい機会をつくってほしい。 子ども達向けにメンタルが強くなる指導、家庭向けにケガのない栄養指導の機会があるといい。 公共施設の空き施設を活用して、身近なスポーツ交流に取り組む。 指導者はボランティア的立場で行っている方が多いのではないかな。安全の確保、指導力向上などを考えてしっかりとした支援が必要である。 様々な競技で、将来有望なスポーツ選手の発掘と支援を進める。
60代	<ul style="list-style-type: none"> 市内で行われるスポーツイベントを年間表の形で知りたい。 世代に合った無理のないスポーツがしたい。 誰もが元気に年を重ねたいと思っている。万歩計の活用や、FMあすもを活用したストレッチの呼びかけなど、小さな取組の積み重ねを大事にしてスポーツを進めてほしい。 100万歩挑戦ウォーキングなど、参加者自らのアイデアで行事を開催する。 市内には様々なスポーツの有資格者が多くいると思う。その整備活用を行うことで地域スポーツの育成につながるのではないかな。また、一関のスポーツはこれ、という宣言もいい指標になる。
70代以上	<ul style="list-style-type: none"> 増加する高齢者やひとり暮らしの家庭の健康維持や元気確認、世代間交流や青少年の健全育成、地域の活性化やコミュニティづくりのため、今後もスポーツの推進や活動支援をお願いしたい。 体育協会が民区で高齢者の仲間づくりをする。

2. スポーツ教室、スポーツイベントについて

20代	<ul style="list-style-type: none"> 土日の午前中などに、エアロビクスやヨガの教室、イベントなどを開催してほしい。
30代	<ul style="list-style-type: none"> ラグビーが好きなので、社会人チームの試合などを市内で開催してほしい。 競わずに1人でできるエアロビクス、ヨガ、ウォーキングには興味がある。 託児ありのスポーツイベントや教室があるとうれしいし、ストレス発散ができる。 スポーツイベントに参加したい気持ちはあるが、子供が小さくてなかなか行けない。子供を遊ばせながらスポーツができるなら、ぜひ参加したい。夕方からだと仕事終わりに参加しやすい。

40代	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間にできるスポーツ教室を増やしてほしい。 ・各行事は土日に行われているが、自分の休みを利用してまで参加することには気が進まない。 ・仕事のスタイルの変化により、休日に行なわれる大会に参加できない人が多くなっていると思う。 ・スポーツ教室は日中仕事をしていると参加できないことが多い。また、3か月程度の短期のものが多いため、長期的な健康や体力の維持のためには利用しづらい。今はオンラインやSNSで様々なスポーツ動画の視聴やレッスン受講ができるので、そのようなものを増やしてほしい。
50代	<ul style="list-style-type: none"> ・身体的な理由から、体への負担が少なく健康づくりを行える活動があれば参加したい。 ・平日は仕事で行けない人が多い。中高年向けのニュースポーツやヨガ、ストレッチ体操等の企画を、ユードームなどで土日の午後からやってほしい。 ・今は仕事が忙しくて参加できないが、定年退職後には機会があれば参加したい。
60代	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者を対象とした教室やイベント等は、ほとんど平日に行われている。60代でも働いている人は多いので、日曜日に開催してもらえるとありがたい。 ・年齢別のスポーツを企画してもらえれば、興味がわくかもしれない。
70代以上	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者のスポーツの指導に取り組んでほしい。 ・高齢者や1人暮らしの人たちが気軽に集まってできる体操などが良い。 ・離れた地域で行われているものは、移動距離を考えて参加を断念することがたびたびある。参加者が少なくなるかもしれないが、会場を変えて実施してほしい。

3. スポーツ施設について

10代	<ul style="list-style-type: none"> ・どんな競技でもできるような施設を増やしてほしい。施設をもっと利用したいので、学生の利用料を安くしてほしい。 ・学生に無料で体育館を使わせてほしい。 ・初心者から上級者まで楽しめるスケートボードパークを設置してほしい。 ・重度の障がい者でも、サポートを受けながら健常者と一緒に利用できるスポーツ施設があるといい。
20代	<ul style="list-style-type: none"> ・雨の日でも子供と一緒に遊べる室内施設がほしい。
30代	<ul style="list-style-type: none"> ・年中利用できる屋内市民プールがほしい。 ・大人も子供も、雨の日でもスポーツを楽しめる所があるといい。 ・ボルダリング施設を設置してほしい。体全体を使うスポーツがいいと思う。 ・スラックラインができるスポーツ施設がほしい。 ・近くに充実したトレーニングジムがほしい。1人で気軽に空いた時間にできる運動がしたい。 ・スノーボードでオリンピック選手を生み出した地域であるにもかかわらず、関連したアクションスポーツの施設がないのは残念。 ・以前住んでいた所には近くにジムがあり利用していた。やはり近くにないとやる気になれない。
40代	<ul style="list-style-type: none"> ・ジムが市内に点在しているので施設をまとめてほしい。一箇所に集約された施設なら利用したい。 ・藤沢地域にあるような、雨天でも使える施設があれば子供たちはうれしいのではないかな。 ・施設利用者のほとんどが自家用車利用なので、公共スポーツ施設の建設は十分な駐車場整備と併せて進めてほしい。
50代	<ul style="list-style-type: none"> ・出来るだけスポーツ施設を1つの場所にまとめ、温泉施設を建設してほしい。 ・散歩コースや公園など、孫と遊びながら運動ができる施設がたくさんあればいいと思う。 ・市民プールが年間通して使えないのはもったいない。
70代以上	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車専用レーンを整備してほしい。 ・余暇時間の多い高齢者にとって、気軽にいつでも運動ができる施設があればありがたい。

4. その他

20代	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運動しやすい環境が少ない。
30代	<ul style="list-style-type: none"> ・ 以前はボウリング場があったが、スポーツに限らず、遊びで体を動かせる所があればいいと思う。 ・ 市外から引っ越して来たが、施設の少なさや設備が充実していないことに物足りなさを感じた。子供のスポ少活動を考えたが、種目が少なく残念に思った。子供がスポーツをしたいと言っても市内でできない種目も多い。市民が気軽にスポーツができる機会や場所が増えたらいいと思う。
50代	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運動することが特別なことのように思われている。誘うと「無理」「疲れるから」などと言われる。 ・ 仕事中心から家庭中心の生活に変わったので、地域の人と交流のあるスポーツを行ってみたい。 ・ 50歳以上の社会人はまだまだ健康で、子育ても一段落して自分の時間を使える人が増えると思うが、スポーツ活動が少ないと感じる。 ・ 兼業農家で休日は家内作業を行うため、スポーツ等の参加が難しい。 ・ スポーツ活動によって、明るく楽しい生活ができる一関市になるといいと思う。 ・ 無料での参加（受講）が根付いているように思われるが、少額でも参加料を負担し、双方で意識を持つことが大切なのではないか。 ・ 様々なスポーツを通じて心身の健康増進と人口増加が図られ、時には優秀な選手が生まれ、一関市全体が活気にあふれるとうれしい。
60代	<ul style="list-style-type: none"> ・ トップウェルネス一関の休館によりスポーツをする機会を失っている。自分の興味ある講座を選べ、また、市街地にあることから有効に活用していた。市での利活用を考えてほしい。
70代以上	<ul style="list-style-type: none"> ・ テレビや新聞等で見聞きしているスポーツに取り組む姿は、日々のとても良い励みになっている。 ・ 軽体操は手軽にすぐできるため、もっと充実してほしい。 ・ 以前住んでいた所では、歩数計や歩数計アプリを活用し、安価な参加費で楽しみながら健康づくりに取り組める事業を行っていたので、参考にするのもいいと思う。

II スポーツ関係団体等との懇談会

1. スポーツ推進委員との懇談会

- (1) 開催日 令和2年10月21日(水)
- (2) 会場 一関保健センター 多目的ホール
- (3) テーマ ・スポーツ推進委員活動の現状と課題
・市民のスポーツ活動への関わり方について
- (4) 参加者数 24名

<主な意見等のまとめ>

役割について
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域での活動において、スポーツ推進委員にできることがもっとあると思う。推進委員の役割をもう少し明確にしてほしい。 ・ 各地域で行われるスポーツ行事へのスポーツ推進委員の関わり具合に、地域差があると感じる。 ・ 高齢者のスポーツ活動への関わりが多く、地域全体のスポーツ活動の推進に対する関わりが少ないように感じる。 ・ 市体育協会や地域協働体などとの関わりを深めるため、懇談の場を設けていくのがいいのではないかと。
事業や活動について
<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在の活動が、派遣要請に応えることに限定されている。 ・ キンボールやポッチャなどを推進しようと活動してきたが、あまり普及につながっていないように思われる。趣味の多様化などにより、スポーツ推進委員の活動がうまくかみ合っていないところもあるのではないかと。 ・ 自分が従事した活動以外の部分が見えにくいので、各地域での派遣の活動状況や、他自治体での活動情報などをスポーツ推進委員全体で共有することで、今後の活動の向上につなげられるのではないかと。 ・ 市民アンケートの結果を見ると、市民のスポーツ活動は、主に健康や長寿を見据えたものとなっている。現在のスポーツ推進委員の活動はイベント的な事業への関わりが主になっているので、日常的に生活に取り入れられる運動に対する取組も必要なのではないかと。 ・ 各地域で、事業への派遣が知っている人同士での依頼になると、声がかかる推進委員とかからない推進委員が出てくる。適材適所の派遣となるような仕組みが必要なのではないかと。 ・ スポーツをしてもらうためには体力測定により自分の体力を知ることが有効だと思う。各地域で体力測定会をやってはどうか。 ・ ニュースポーツの推進など、これまでスポーツ推進委員が積み重ねてきた活動を、今後も活かしていくことも大事だと思う。 ・ 市のオリジナル体操である「いちのせき体操」をスポーツ推進委員も覚えて、親子レクなどへの派遣の時に準備体操に取り入れると、周知や普及につながると思う。
知名度の向上や周知について
<ul style="list-style-type: none"> ・ 派遣依頼をする団体が固定化している。 ・ 競技指導の自主研修などを行っているが、活用できる場があまりない。市体育協会、競技協会、学校などへの橋渡しがあれば活動の場が広がり、知名度の向上にもつながるのではないかと。 ・ スポーツ推進委員の活動を紹介するチラシを作成して配布したが、あまり効果につながっていないように感じる。 ・ 今年からスポーツ推進委員として活動しているが、自分自身がスポーツ推進委員を知らず、何をしたらいいのかわからなかった。また、派遣先でも認知度は高くないと感じたので、まずは活動を知ってもらうことが大切だと思う。 ・ 春に学校のPTAが集まるような機会での周知や、市の広報誌を活用するのもいいのではないかと。 ・ 紙媒体での周知もいいと思うが、口伝はより効果があると感じる。例えばPTA活動への関わりを増やすためには、学校の先生から役員の方へ口添えしてもらうのもいいと思う。

委員の選出について

- ・活動に従事する人が固定化している現状があることから、積極的に参加する人が選出されるような仕組み作りが必要ではないか。
- ・スポーツ推進委員の役割や活動内容などの説明を十分に行ったうえで選出することで、委員になってからの活動がスムーズになり、自覚や責任を持つことにもつながるのではないか。

市のスポーツ全般について

- ・イベントを開催するだけでなく、どのようにしたら市民のスポーツ活動につながるかということを考えることが大事だと思う。
- ・今は動画配信を通じた運動もできる環境にある。市民のスポーツ活動の推進においても、そのような観点で考えることも必要であると思う。
- ・例えば、FMあすもで「いちのせき体操」を毎日決まった時間に流せば、その時間に体操に取り組むという習慣ができるのではないか。健康長寿の観点でスポーツ活動を考えるのであれば、手軽に続けられる環境をつくるのが大切であると思う。
- ・高齢者のスポーツ活動について、競う楽しみや目標を持つことも継続につながるのではないか。例えば、市民センターに同じ種目の用具を配備して日常的な練習につなげ、市民センターなどの主催で大会を開催するのもいいのではないか。輪投げの用具などは、手作りでも対応できると思う。
- ・市体育協会で行っている500円で参加できるスポーツ教室は続けてほしい。時間帯や内容の充実も図っていただきたい。

2. 競技団体等との懇談会

名称	日時	会場	対象者	参加者数
競技団体等との懇談会【屋外競技】	令和2年 10月27日(火)	一関市産業教養文化体育施設	・(一社)一関市体育協会 ・種目別競技協会 ・総合型地域スポーツクラブ	14名
競技団体等との懇談会【屋内競技】	令和2年 10月29日(木)	一関市総合体育館	・小学校・中学校・高等学校の各体育連盟	13名

<主な意見等のまとめ>

(1) テーマ1 各団体における現状と課題について

① 競技人口の減少について

現 状
<ul style="list-style-type: none"> ・ 少子化の影響による競技人口の減少に伴い、大会の参加チームも減少している。 ・ スポーツ少年団、中学校、高等学校においては、新規の団員や部員の確保が難しくなり、活動休止や廃部となっている団体がある。 ・ 部活動で取り組める競技に限られ、学校の枠を超えた活動を行っている現状がある。 ・ 有望な若い選手が地元に残らず、進学や就職で市外に流出している現状がある。 ・ 役員が長年固定されており、組織内での後継者の育成が進んでいない。 ・ 指導スタッフの確保が難しく、各種教室の開催が難しくなっている。
課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・ 現状のチームの活動を継続していくためには、指導者の計画的な配置が必要である。 ・ 地域クラブの創設など、いつでも、誰でも好きなスポーツに継続的に取り組むことができるよう、地域で競技活動を支える環境づくりが必要である。 ・ 幼少期からスポーツへの関わりを持たせるため、年間を通じた教室の開催と、スポーツ少年団との協力体制の構築が必要である。 ・ 園児や小学生への競技普及を図るため、教室やイベントへなどの勧誘活動を行うための窓口が幼稚園や小学校にあると、普及活動が活性化される。 ・ 市内の学校を卒業して地元で就職した経験者などを会員として取り込み、組織拡大を図る。 ・ 大学、社会人で競技を行ってきたアスリートが一関に定着するような環境整備が必要ではないか。 ・ 各種大会を開催してスポーツに関わる人を増やし、スポーツによる人材の育成を図る。 ・ 冬季の学習の一環として、まつるベスノーランドを活用したスキー教室を開催すると、スキー競技の普及や施設利用の促進につながることを期待される。

② 競技力の向上や指導者育成について

現 状
<ul style="list-style-type: none"> ・ 市体育協会の補助事業を活用し、著名な指導者を招へいした指導者育成講習会などを開催し、選手育成・強化を図っている。 ・ ワークショップ的な指導者講習会的を開催しており、成績向上に結びついている。 ・ 大規模大会の開催を通じて役員の育成と運営力の強化、選手の競技力の向上を図っている。 ・ 一般選手の強化練習への地区大会上位入賞の中高生の参加、高校生の強化練習への一般選手の参加、高校生を練習相手にした中学生の強化練習など、年代を超えた技術強化に取り組んでいる。 ・ 社会人のクラブや事業所チームが減少し、卒業後も競技を続けることが難しくなっている。 ・ 若手の競技人口が少なく、指導者の資格を取る人が少ない。

課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指導者同士の連携と情報共有の場の確保が必要である。 ・ 競技力向上の取組は幼少期から始めるのが良い。選手強化事業でトップアスリートを招聘すると子ども達の良い刺激になっている。 ・ 指導者資格取得講習会や、外部指導者を招聘しての指導法の研修会等の開催が必要。また、開催に対する支援も必要である。 ・ 強い選手は、幼い頃から指導者に恵まれている。競技力の向上には、スポーツ少年団の指導者の育成が大事である。 ・ 指導者の資質やコーチング技術の向上を図る必要がある。 ・ 大規模大会は、プロ化などが進み中、誘致が難しくなっており、各競技の中央組織とのつながりが大事になっている。

③ スポーツ施設について

現 状
<ul style="list-style-type: none"> ・ 一関水泳プールは、充実した設備で県内でも評価が高い一方で、利用期間が2か月と短く、年間を通じた水泳競技の普及やレクリエーション施設の提供ができていない。 ・ 弓道は高齢者でも取り組むことができるが、一関武道館の弓道場は3階にあるため上り下りが大変である。また、観客エリアがなく、観戦や見学を通じた競技の普及が難しい。 ・ 冬場のスポーツ活動をするにあたり、暖房設備の整った施設が少ない。設備が充実した施設は人気があつてなかなか利用できない。
課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・ 本市のスポーツ施設は使用料が安いと、近隣市町からの利用が多く、市内の団体等の利用に影響している現状もあることから、市民がもっと利用しやすい環境を整えることが必要ではないか。 ・ プールは幅広い年代の人が様々な目的で利用しているスポーツ施設なので、多くの需要に対応できるような整備が必要と考える。 ・ 冬場の安定した活動場所の確保のため、各施設の暖房設備の完備を進めてほしい。

(2) テーマ2 一関市のスポーツ振興について

スポーツ活動の推進について
<ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツは生涯にわたって取り組むもの。幼児期から高齢期まで、それぞれの年代に対してアプローチする必要がある。 ・ 幼児期にスポーツを体験させ、楽しさを伝える場がたくさんあることが大切である。 ・ 小学生にとっては、1つの競技に偏らないスポーツ経験が必要だと思われる。市全体として様々な競技経験ができる機会が増えるといいと思う。 ・ 幼稚園、小学校、学童施設が種目別競技協会の積極的な活用を図り、子どもが競技に触れる機会を増やすような取組があるといいと思う。 ・ 市の事業として、種目別競技協会と連携し、市民が参加しやすい事業を企画して普及を図ることが望まれる。 ・ 障がい者のスポーツ活動を推進するため、市内各地域を巡回してニュースポーツのミニ体験会を実施している。

<p>総合型の地域クラブの創設について</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 幅広い年齢層のスポーツ活動を推進するため、活動を支える地域クラブの創設が望まれる。創設にあたっては、活動場所の確保、継続的な活動に対する支援、運営に対する人的支援などが必要と考える。 ・ 多くの子どもにスポーツに興味を持たせるため、総合型のスポーツ少年団を組織して、まずは様々な競技を経験させ、競技を絞っていく中で適した競技を見いだせるのではないかと。市、市体育協会、種目別競技協会、地域が一体となって進める必要がある。 ・ 今後さらに、学校単位や学区単位でのチーム活動が難しくなることが予想されることから、学校の枠を超えたスポーツクラブの創設が必要と考える。専門の指導者の確保や交通手段の確保の課題もあるが、一貫した指導による競技力の向上が期待される。 ・ 地域型のクラブに集まって好きな競技に取り組み、育てていければと思うが、中学生の大会は学校単位での出場となっているのが現状としてある。 ・ 総合型地域スポーツクラブの創設がなかなか進まない要因として、指導者が様々な競技に対応しなければならないことや、クラブマネージャーの育成が難しいことにあるのではないかと。
<p>各種支援について</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ トップリーグ、全国大会などの大規模大会、強化合宿等の積極的な誘致を行い、競技力向上並びに市民の「みるスポーツ」を推進することが望まれる。そのために、大会開催やスポーツ合宿実施に対する更なる補助が必要と考える。 ・ 市内に女子ソフトボールのクラブチームが発足したが、クラブチーム発足に官民が一体となって資金援助する仕組みづくりも必要ではないかと。 ・ 全国大会出場に対する支援や選手の育成強化に対する支援は、選手にとって励みであり、保護者にとってもありがたい事業なので、充実を図りながら今後も継続してほしい。 ・ 上位大会出場に対する支援はあるが、競技に取り組む子ども全体に対する支援として、何年かに1回のローテーションの形で、競技協会への用具費の補助があるといいと思う。
<p>新型コロナウイルス感染症に対する対策について</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症に対する継続的な感染予防体制を構築したうえで各種事業を推進し、スポーツの振興を図ることが必要である。 ・ 感染症対策の具体策を示しながら、安全に対する協力と理解を得ていく必要がある。 ・ 感染症の影響で、接触を伴う競技は今後も避けられるのではないかと危惧している。予防策を徹底して、いかに安全に競技を行っているかということについてPRする必要がある。

Ⅲ 一関市のスポーツを考えるワークショップ

日時	対象地域	会場	対象者	参加者数
令和2年 11月2日(月)	大東、東山	摺沢市民センター	・各地区体育協会 ・スポーツ少年団 ・小中学校PTA ・地域協働体の関係者	21名
令和2年 11月4日(水)	一関（一関・山目・中里・ 葦美・萩荘・舞川地区）	一関市総合体育館		26名
令和2年 11月10日(火)	一関（真滝・弥栄地区） 花泉			16名
令和2年 11月13日(金)	千厩、室根、川崎、藤沢	千厩市民センター		20名

<主な意見等のまとめ>

(1) テーマ1 生涯スポーツの推進について

- ・ 1つのスポーツに偏ると、競技に対する熱量が下がったり、ケガをしたりすることがきっかけでやめてしまう可能性もある。小さい頃から様々なスポーツを体験して、選択の幅を広げるといいのではないかと。
- ・ 親がスポーツをしていないと、子どももスポーツをすることに馴染みがないのではないかと。
- ・ スポーツ少年団に加入する子どもが減っている。少子化の影響もあるが、「土日は家族と過ごしたい」という意識の変化もあるのではないかと。
- ・ 競技団体などが地域や学校に出向いて出前教室を行い、子どもも大人も、まずはお試しで気軽にスポーツを体験できる機会を持つことで、その後の興味につながるのではないかと。
- ・ 地域に縛られず、やりたいスポーツができる機会があることが必要である。学校の部活は、少ない人数を分散させるのではなく、「バレーボールをするならこの学校」というように、学校ごとに部活の種目を割り振ることなどもいいのではないかと。
- ・ 公園で、子どもがやりたい球技やスポーツができるようにしてほしい。また、鉄棒、足ツボマッサージができる場所など、スポーツを身近に親しめるような環境を整備してはどうか。
- ・ 有名な選手を呼び、スポーツに触れるきっかけづくりをしたらいいのではないかと。グラウンド・ゴルフなどの有名選手を呼んで、シニアの人たちの活動を盛り上げるのもいいのではないかと。
- ・ スポーツ推進委員に、「なぜスポーツは大事なのか」を伝える役割を担ってもらってはどうか。
- ・ 働いているときは地域との交流はほとんどないが、定年後は地域が社会との接点になり、体を動かすことも地域がきっかけになるかもしれない。地域の行事への参加に声をかけてくれるようなリーダーが必要だと感じる。
- ・ 「生涯」＝高齢者のイメージで、子どもも含まれているとは想像していなかった。改めて、年代に合ったスポーツを推進することや、その機会や場所が重要だと感じた。
- ・ 年齢によって、やりたいスポーツが変わってくる。様々なスポーツが体験できる機会が必要と考える。1回の体験では次につながりにくいので、ある程度の期間を設けて体験させて、その後のサークルなどの団体を立ち上げるサポートも必要だと思う。
- ・ スポーツがしたい人を仲介する仕組みが必要ではないかと。市体育協会のホームページなどを活用して、市内のスポーツ団体の情報を発信したり、情報を一覧化して回覧したりするのはどうか。YouTubeなどの動画でのレクチャーや情報発信も必要ではないかと。

(2) テーマ2 競技スポーツの推進について

- ・低学年の時に、「スポーツって良いな」と感じることができる機会をつくるのが大切だと思う。体験できるスポーツの選択肢を多くしてほしい。
- ・団体競技は体験機会が少ないため、選択肢になりにくい。団体競技の体験を通じて、スポーツ少年団や中学校の部活動で団体競技を選ぶきっかけをつくってほしい。
- ・スポーツでの「勝ち負け」へのこだわりや意欲が少なく、やっているだけで満足する子どもが多いのではないか。トップレベルの選手やプロのプレーに触れる機会があると、意欲の向上につながるのではないか。
- ・住所地の学区の中学校で、やりたい競技に取り組める環境づくりが必要である。部活動とクラブチーム等での活動を、同等のものとして選択できるような仕組みがあるとよい。
- ・クラブチーム化を進めるにあたり、現在、学校単位の参加となっている大会のあり方も見直していかなければならない。
- ・地元出身のプロ選手などの情報を提供する媒体や、選手を応援できるような仕組みがあると、市全体としての競技スポーツの機運が高まるのではないか。
- ・成人後も地元で競技スポーツを続けたり、指導者としての関わりを続けたりするためには、その人の職場や雇用者の理解が不可欠だと感じる。
- ・指導者のレベルアップが必要である。コーチングや救急救命の講習会を開催するとともに、「競技を楽しむ」という指導ができる人材を養成してほしい。
- ・指導者を地域に残すような取り組みが必要である。資格取得に係る費用補助や、指導者講習会の招致などのサポートがあるとよい。
- ・大会が多く、審判などの調整も多くなり、保護者等の負担が増えている。また、審判などの資格取得に係る費用の負担も大きいので、市で補助してほしい。
- ・自分が所属する団体の会費のほかに、地区協会、市協会、県協会などへの登録料がそれぞれに必要となることが多く、金銭的負担が大きい。遠征等の負担も大きいことから、それらに対する補助があれば、スポーツをするハードルが低くなると思われる。
- ・市内にソフトボールのクラブチームができて盛り上がっている。各種目でそのような動きが進めば、市全体が盛り上がってくるのではないか。

(3) テーマ3 スポーツ施設の利用促進について

- ・施設の予約について、スポーツ推進の視点から、生涯スポーツや競技スポーツなどの分野ごとに利用枠を設定して、抽選制にしたらいのではないか。
- ・公共施設予約システムを知らない人が多いので、もっと周知が必要である。
- ・公共施設予約システムは、スムーズに利用予約が行える一方で、市内の他地域の人の利用も多く、住んでいる地域にある施設の予約がなかなか取れないこともある。地元地域の人が優先的に使えるような配慮があると良いと思う。
- ・年数回、スポーツ施設を無料開放してほしい。種目を決めてインストラクターが指導してくれるような仕組みをつくるなど、開催方法も検討してほしい。
- ・各施設の設備や用具についての情報を一覧化して発信してほしい。スポーツ施設だけでなく、学校の体育館の空き状況も知りたい。
- ・限られた人や団体が施設を利用しているように感じる。市広報誌などで、どのようなことに施設が利用できるかという情報を発信するのいいと思う。施設の場所や規模がわかるようなマップもあるのいいと思う。
- ・市内にトレーニング室が少ない。また、既存のトレーニング機器が古いと感じる。
- ・スポーツ施設は何でもあるということではなく、地域に特化した施設整備を行ってはどうか。どの施設を、いつまでに、どのようにするかという計画を作成して整備するのがいいと思う。
- ・eスポーツやAIなど、時代に合った施設や設備の整備を進めるのが良い。
- ・冬は屋外で練習が出来ないため、屋内練習場の整備が必要だと感じる。

IV 一関市スポーツ推進審議会条例

平成18年3月24日

条例第37号

(設置)

第1条 スポーツ基本法（平成23年法律第78号）第31条の規定に基づき、一関市スポーツ推進審議会（以下「審議会」という。）を置く。

(所掌事項)

第2条 審議会は市長の諮問に応じ、次に掲げる事項について調査審議する。

- (1) スポーツ推進計画に関すること。
- (2) その他スポーツの推進に関し市長が必要と認める事項

(組織)

第3条 審議会は、委員20人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

- (1) スポーツ関係団体の役員
- (2) 関係行政機関の職員
- (3) その他市長が必要と認める者

(任期)

第4条 審議会の委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第5条 審議会に会長及び副会長1人を置き、委員の互選とする。

2 会長は、会務を総理し、会議の議長となる。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 審議会は、必要に応じ会長が招集する。

2 審議会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。

3 審議会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(庶務)

第7条 審議会の庶務は、まちづくり推進部スポーツ振興課において処理する。

(委任)

第8条 この条例に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この条例は、平成18年4月1日から施行する。

附 則（平成23年12月9日条例第51号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成27年3月12日条例第2号抄）

(施行期日)

1 この条例は、平成27年4月1日から施行する。

(一関市スポーツ推進審議会条例の一部改正に伴う経過措置)

5 この条例の施行の際現に前項の規定による改正前の一関市スポーツ推進審議会条例第3条第2項の規定により委員に委嘱された者で、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）に当該委員の任期に残任期間があるものは、施行日に前項の規定による改正後の一関市スポーツ推進審議会条例第3条第2項の規定により委員に委嘱されたものとみなす。この場合において、その者の任期は、改正後の一関市スポーツ推進審議会条例第4条の規定にかかわらず、当該残任期間と同一の期間とする。

V 一関市スポーツ推進審議会委員名簿

(令和2年7月21日現在)

役職名	氏名	備考
会長	吉家 義博	一般社団法人一関市体育協会 常務理事
副会長	廣長 千鶴子	一関市スポーツ推進委員協議会 会長
委員	阿部 稔	一関市スポーツ少年団本部 本部長
委員	伊東 三四司	興田体育協会 会長
委員	上野 文枝	小梨体育協会 事務局
委員	江刺 邦昌	一関市バスケットボール協会 会長
委員	大和田 コト	一関市スポーツ指導者協議会 会長
委員	佐々木 由紀子	一関市水泳協会 理事
委員	佐藤 伸哉	一関地方小学校体育連盟 会長
委員	佐藤 隆一	岩手県高等学校体育連盟県南支部 事務局長
委員	澁谷 喜一	一関市ソフトボール協会 理事長
委員	菅原 芳久	一関市PTA連合会 副会長
委員	田村 純一	まちづくりスタッフバンク
委員	千田 真也	スポーツアカデミー一関 所長
委員	千葉 京子	一関市保健推進委員連絡協議会 会長
委員	千葉 整一	一関市フェンシング協会 会長
委員	千葉 美幸	一関商工会議所観光部会 副部会長
委員	中野 信雄	一関市老人クラブ連合会 一関支部体育部会長
委員	萩田 進	特定非営利活動法人グッジョブクラブ 理事長
委員	皆川 啓	一関地方中学校体育連盟 会長

※氏名五十音順（会長及び副会長を除く）・敬称略

<事務局>

- ・ まちづくり推進部長 佐藤 孝之
- ・ まちづくり推進部次長兼スポーツ振興課長 猪股 悦子
- ・ スポーツ振興課スポーツ振興係長 滝澤 清
- ・ スポーツ振興課 後藤 美佳
- ・ スポーツ振興課 上木 達也
- ・ スポーツ振興課 大瀬 浩平

VI 計画策定の経過

年月日	会議名等	内容
令和2年 7月21日(火)	第1回 スポーツ推進審議会	<ul style="list-style-type: none"> ・市長より諮問 ・計画策定の主旨等の説明、スケジュール案の検討、市民アンケート調査案の検討
8月11日(火) ～31日(月)	一関市民のスポーツ活動に関するアンケート調査	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ活動について ・市の事業について ・スポーツ施設について ・スポーツ施策について
10月21日(水)	スポーツ推進委員との懇談会	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員活動の現状と課題 ・市民のスポーツ活動への関わり方について
10月23日(金)	第2回 スポーツ推進審議会	<ul style="list-style-type: none"> ・市民アンケート結果の報告、計画の構成の検討
10月27日(火) 29日(木)	スポーツ関係団体との懇談会 【対象】 一関市体育協会、種目別競技協会、 総合型地域スポーツクラブ、 小・中・高体育連盟、 スポーツ指導者協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・各団体における現状と課題について ・一関市のスポーツ振興について
11月2日(月) 4日(水) 10日(火) 13日(金)	一関市のスポーツを考えるワークショップ 【対象】 地区体育協会、スポーツ少年団関係者、 小・中学校PTA、地域協働体	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯スポーツの推進について ・競技スポーツの推進について ・スポーツ施設の利用促進について
12月4日(金)	第3回 スポーツ推進審議会	<ul style="list-style-type: none"> ・懇談会及びワークショップの開催内容の報告、本市のスポーツの現状と課題についてのまとめ、計画の基本理念と施策の方向性の検討
12月23日(水)	第4回 スポーツ推進審議会	<ul style="list-style-type: none"> ・計画案の検討
令和3年 1月7日(木)	一関市観光協会及び一関商工会議所との意見交換	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツツーリズムの推進について
1月27日(水)	第5回 スポーツ推進審議会	<ul style="list-style-type: none"> ・計画案の検討
2月22日(月)	一関市議会 総務常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・計画案の説明
2月24日(水) ～3月10日(水)	パブリックコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・計画案に対する意見を市民から募集
3月12日(金)	第6回 スポーツ推進審議会	<ul style="list-style-type: none"> ・答申案の検討 ・市長への答申

Ⅶ スポーツ施設一覧

(令和2年4月1日現在)

通し 番号	施設区分	施設名	所在地	設置年	指定 管理
1	水泳プール	一関水泳プール	狐禅寺字石ノ瀬 18-4	H24	○
2		花泉水泳プール	花泉町涌津字古川 8	S47	○
3		東山B & G海洋センター	東山町長坂字西本町 212-8	S60	○
4		藤沢B & G海洋センター	藤沢町徳田字大望沢 37-10	H5	○
5	野球場	一関運動公園野球場	萩荘字箱清水 4-2	H4	○
6		東台野球場	東台 14-23	S60	○
7		花泉運動公園野球場	花泉町花泉字伊勢沢 14-3	S60	○
8		大東野球場	大東町摺沢字上堺ノ沢 72	S62	○
9		伊勢館公園野球場	大東町鳥海字清水 22	S59	※
10		千厩野球場	千厩町千厩字神ノ田 48-1	S51	○
11		東山球場	東山町長坂字西本町 169-4	S63	○
12		室根野球場	室根町折壁字宝下 56-1	H10	○
13	テニスコート	一関運動公園テニスコート	萩荘字箱清水 4-2	H2	○
14		花泉運動公園テニスコート	花泉町花泉字伊勢沢 14-3	H4	○
15		花泉テニスコート	花泉町老松字水沢 185-1	S56	○
16		春日公園テニスコート	大東町大原字川内 35	S56	
17		伊勢館公園テニスコート	大東町鳥海字細田 15-1	S59	※
18		清田テニスコート	千厩町清田字落合 2-1	H2	○
19		千厩多目的グラウンドテニスコート	千厩町千厩字草井沢 32-2	H7	○
20		東山テニスコート	東山町長坂字西本町 160	H元	○
21		室根テニスコート	室根町折壁字向山 85	H9	○
22		川崎テニスコート	川崎町薄衣字法道地 151-4	H9	○
23		藤沢テニスコート	藤沢町藤沢字仁郷 50-3	S61	○
24	陸上競技場	一関運動公園陸上競技場	萩荘字箱清水 4-2	H8	○
25	多目的 グラウンド	一関運動公園多目的広場	萩荘字箱清水 4-2	H5	○
26		花泉運動公園多目的競技場	花泉町花泉字伊勢沢 14-3	H2	○
27		大東グラウンド	大東町摺沢字上堺ノ沢 72	H元	○
28		春日グラウンド	大東町大原字川内 27	H3	
29		千厩多目的グラウンド運動広場	千厩町千厩字草井沢 32-2	H7	○
30		東山多目的グラウンド	東山町長坂字西本町 169-1	H4	○
31		川崎運動広場	川崎町薄衣字法道地 152-5	H9	○
32		藤沢運動広場	藤沢町藤沢字仁郷 41	H21	○
33	サッカー・ ラグビー場	一関サッカー・ラグビー場	狐禅寺字石ノ瀬 98-1	H26	○
34		萩荘サッカー場	萩荘字長者原 250-1	H9	○
35		千厩多目的グラウンドサッカー場	千厩町千厩字草井沢 32-2	H6	○

通し 番号	施設区分	施設名	所在地	設置年	指定 管理
36	ソフトボール場	一関運動公園ソフトボール場	萩荘字箱清水 94-2	H 7	○
37		千厩多目的グラウンドソフトボール場	千厩町千厩字草井沢 32-2	H 7	○
38	体育館	一関市総合体育館	狐禅寺字石ノ瀬 25-3	H 11	○
39		東口体育館	字柳町 4-1	R 2	○
40		花泉体育館	花泉町老松字水沢 209-1	S 54	○
41		花泉第二体育館	花泉町涌津字古川 8	S 43	○
42		大東体育館	大東町摺沢字新右工門土手 49-3	S 57	○
43		大東バレーボール記念館	大東町鳥海字細田 24	H 7	※
44		大東勤労者体育センター	大東町大原字川内 35	H 2	
45		千厩体育館	千厩町千厩字館山 50	S 43	○
46		東山総合体育館	東山町長坂字北山谷 247	H 11	○
47		東山農村勤労福祉センター	東山町松川字滝ノ沢 129-6	S 61	○
48		室根体育館	室根町折壁字向山 85	S 61	○
49		川崎体育センター	川崎町薄衣字法道地 151-5	H 8	○
50		藤沢体育館	藤沢町藤沢字町裏 187	S 52	○
51		藤沢スポーツプラザ	藤沢町藤沢字仁郷 12	S 62	○
52		武道館	一関武道館	三関字桜町 50-4	S 59
53	千厩武道館		千厩町千厩字館山 50	H 4	○
54	弓道場	花泉弓道場	花泉町涌津字山中 31-108	H 4	○
55	キャンプ場	尾花が森キャンプ場	萩荘字要害山田 110-24	S 53	○
56		花泉運動公園キャンプ場	花泉町花泉字伊勢沢 14-3	S 62	○
57		飛ヶ森キャンプ場	千厩町奥玉字飛ヶ森 11-80	S 46	○
58		黄金山キャンプ場	千厩町小梨字新地 366-1	H 5	○
59	パークゴルフ場	唐梅館パークゴルフ場	東山町長坂字西本町 217-1	H 12	○
60	クラブハウス	唐梅館総合公園クラブハウスえぼっく	東山町長坂字西本町 212-8	H 3	○
61		ニコニコドーム	藤沢町徳田字大望沢 37-11	H 7	○
62	スケート場	千厩アイスアリーナ	千厩町千厩字上駒場 360-14	H 6	○
63	ゲートボール場	すばーく藤沢	藤沢町徳田字大望沢 37-4	H 7	○
64	その他	一関市産業教養文化体育施設	東台 50-46	H 6	○
65		藤沢ニコニコヘルス	藤沢町徳田字大望沢 37-10	H 6	○
66		藤沢スポーツランド	藤沢町新沼字西風 40	H 3	○

1. 根拠条例

一関市スポーツ施設条例、一関市産業教養文化体育施設条例、一関市藤沢ニコニコヘルス条例、一関市藤沢スポーツランド条例

2. 指定管理について

※印の3施設（伊勢館公園野球場、伊勢館公園テニスコート、大東バレーボール記念館）は、令和3年4月1日より地域協働体に指定管理委託予定

Ⅷ SDGsにおける17のゴール

SDGsは、誰一人取り残さない、持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標で、2015年の国連サミットにおいて全ての加盟国が合意した「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の中で掲げられました。2030年を達成年限とし、17のゴールと169のターゲットから構成されています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS			
		 9 産業と技術革新の基盤をつくろう	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る。
 1 貧困をなくそう	1 貧困をなくそう あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる。	 10 人や国の不平等をなくそう	10 人や国の不平等をなくそう 各国内及び各国間の不平等を是正する。
 2 飢餓をゼロに	2 飢餓をゼロに 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養の改善を実現し、持続可能な農業を促進する。	 11 住み続けられるまちづくりを	11 住み続けられるまちづくりを 包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する。
 3 すべての人に健康と福祉を	3 すべての人に健康と福祉を あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。	 12 つくる責任 つかう責任	12 つくる責任 つかう責任 持続可能な生産消費形態を確保する。
 4 質の高い教育をみんなに	4 質の高い教育をみんなに すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する。	 13 気候変動に具体的な対策を	13 気候変動に具体的な対策を 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。
 5 ジェンダー平等を実現しよう	5 ジェンダー平等を実現しよう ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う。	 14 海の豊かさを守ろう	14 海の豊かさを守ろう 持続可能な開発のために、海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する。
 6 安全な水とトイレを世界中に	6 安全な水とトイレを世界中に すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する。	 15 陸の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさを守ろう 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する。
 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する。	 16 平和と公正をすべての人に	16 平和と公正をすべての人に 持続可能な開発のため平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する。
 8 働きがいも経済成長も	8 働きがいも経済成長も 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する。	 17 パートナリシップで目標を達成しよう	17 パートナリシップで目標を達成しよう 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する。